

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市ふるさと農園
条例上の設置目的	農林業に対する市民の理解を深めるとともに、いこいの場を提供し、農林業の振興に寄与するため、ふるさと農園を設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	市民が土や自然に親しみ、農産物の生産や加工の実習などを通し、農業に対する理解を深めるため必要な事業の拡充。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	農業に接する機会の少ない市民が農業について学ぶことができ、日本の農村原風景を再現した、いこいの場にふれることにより、農林業に親しみを持つことができる。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上効果を見込んでいる。
指定管理者名	千葉みらい農業協同組合・一般社団法人千葉市園芸協会
構成団体 (共同事業体の場合)	千葉みらい農業協同組合(代表団体)
	一般社団法人千葉市園芸協会(構成団体)
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年)
所管課	経済農政局農政部農政センター農業経営支援課

2 成果指標等の推移

(1) 利用者数(成果指標1)

	平成26年度(参考)	平成27年度(参考)	平成28年度	平成29年度
実績値	88,217	101,201	99,672	100,141
数値目標※	85,000	85,000	87,000	87,000
達成率	103.8%	119.1%	114.6%	115.1%

(2) ○○○○○○(成果指標2)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
実績値	—	—	—	—	—
数値目標※	—	—	—	—	—
達成率	—	—	—	—	—

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

				平成２６年度（参考）	平成２７年度（参考）	平成２８年度	平成２９年度
必須業務	収入	指定管理料	実績	45,230	45,230	44,330	44,330
			計画	45,230	45,230	44,330	44,330
		利用料金	実績	741	728	854	761
			計画	750	750	750	850
		その他	実績	813	689	236	223
			計画	150	170	170	170
		合　計	実績	46,784	46,647	45,420	45,314
			計画	46,130	46,150	45,250	45,350
	支　出	実績	43,350	41,254	41,448	42,450	
		計画	46,130	46,150	45,250	45,350	
収　支		実績	3,434	5,393	3,972	2,864	
自主事業	収　入	実績	697	527	547	502	
		計画	752	752	696	614	
	支　出	実績	538	475	528	498	
		計画	356	356	583	604	
	収　支		実績	159	52	19	4
総収入			実績	47,481	47,174	45,967	45,816
総支出			実績	43,888	41,729	41,976	42,948
総収支			実績	3,593	5,445	3,991	2,868
利益の還元額			実績	－	－	－	
利益還元の内容				－		－	

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評 価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	成果目標を達成している。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	選定時の提案額とほぼ同額で運営されている。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	事業計画書・提案書のとおり実施されている。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	適正に執行体制が整えられている。
(2) 施設の維持管理業務	C	適正に施設の維持管理が行われている。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	継続的に施設のPRを行ったことにより、来園者数が目標を上回った。
(2) 利用者サービスの充実	C	利用者からの意見を元に、教室の開催回数を見直す等、改善を図っている
(3) 施設における事業の実施	C	提案書のとおり、事業が行われている。教室は募集人数に対して、応募人数が上回っており、アンケートによると受講者からの評価も良い。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	優先的に市内業者に発注している。 非常勤職員は市内居住者を継続して雇用している。

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

- ・指定管理者が真摯に事業に取り組んでいたことから、利用者数も堅調に推移し、利用者からも好評を得ている。
- ・施設の老朽化が進んでいるが、不具合箇所は迅速に修繕を行い、また花壇や植栽が適切に管理されており、清掃も行き届いているため、全体的に景観を保っている。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

- ・様々な教室や農業関連の展示等を行ってきたことで、「農とのふれあい」の機会を提供できたが、更なる充実を図るためには、民間企業のアイデアを活用し、自主事業の大幅な拡大が必要であると考えられる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・適正な施設管理を行い、市民に「農とのふれあい」の機会を提供できていると言える。
- ・その上で更なる「農とのふれあい」の機会の充実について、その方法を十分に検討されたい。